

配電線付近における感電負傷事故事例について

過去の事故発生件数

(H26年2月10日現在 当社把握分)

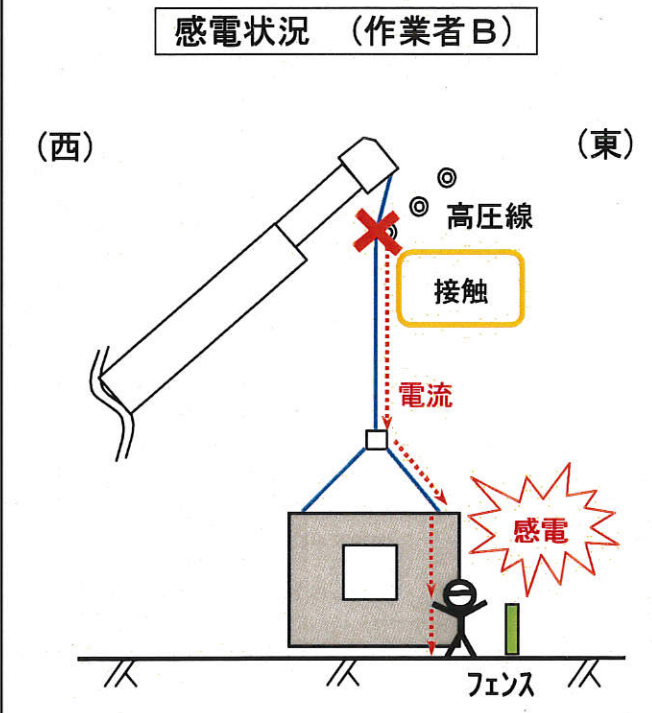
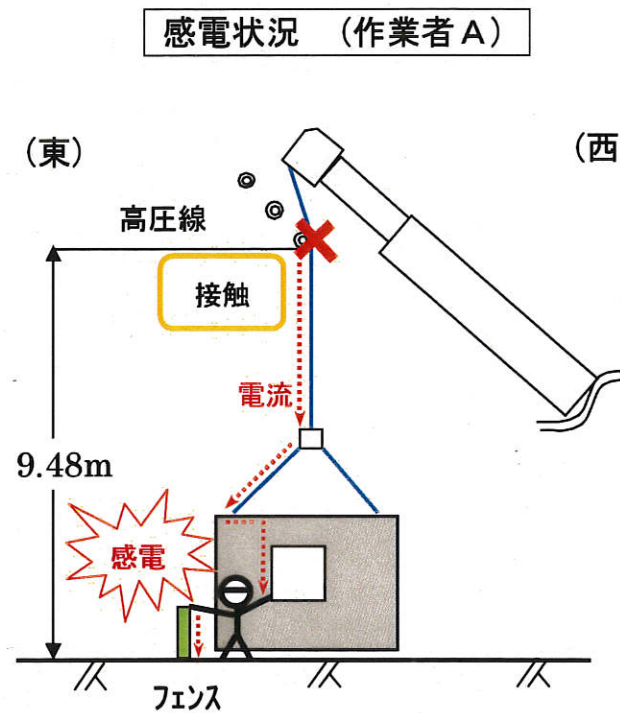
	発生件数 (名古屋、岡崎支店分)	
	感電事故	接触・損傷事故
平成23年度	2件	15件
平成24年度	2件	9件
平成25年度	8件	9件

中部電力からのお願い

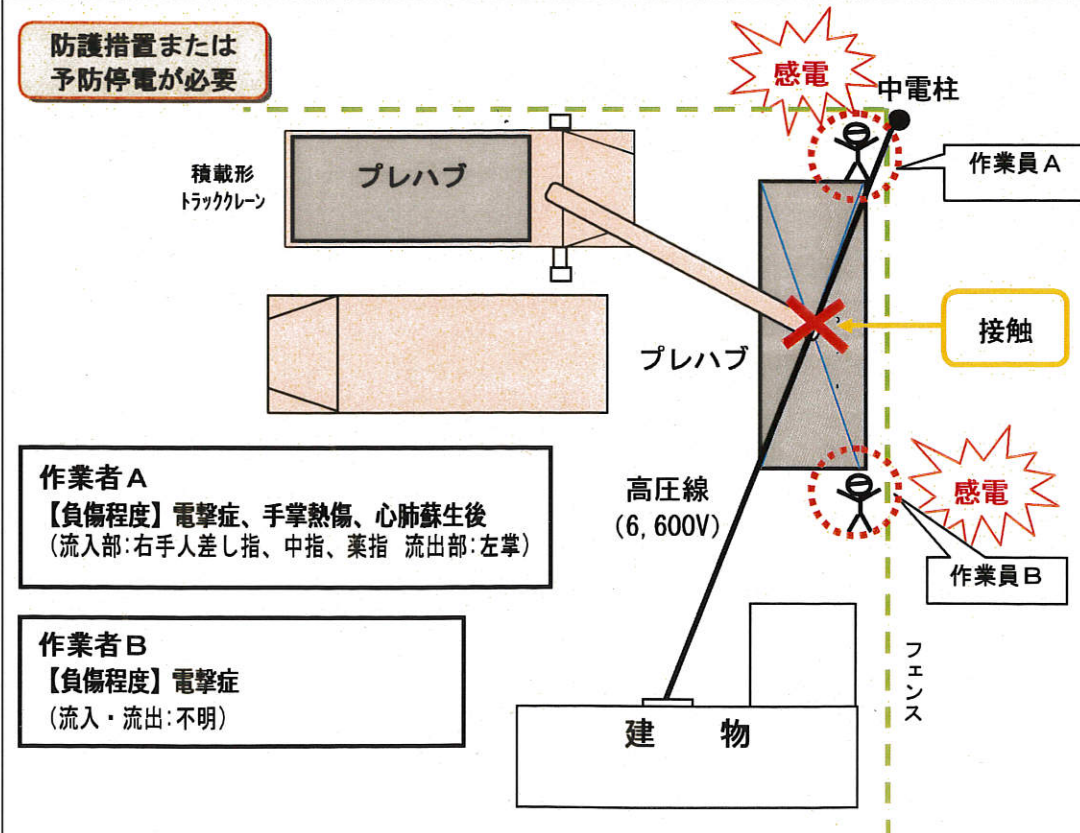
『感電災害の撲滅！ 地域のお客さまの停電事故防止！』に向け、
配電線等へ接近して作業される場合は、必ずお近くの中部電力営業所へ事前にご相談いただきますようお願いいたします。

感電負傷事例

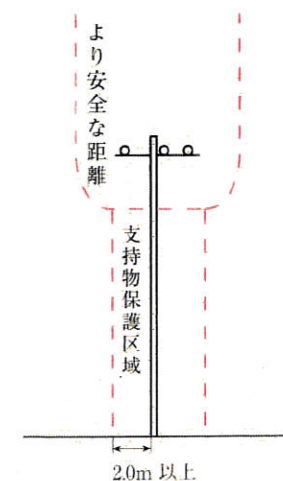
事故状況	発生日時	平成26年2月3日(月) 10時 8分
	発生場所	愛知県小牧市内
	発生概要	プレハブ事務所の据え付け工事中に、積載形トラッククレーンのクレーンワイヤーが高圧電線(6,600V)に接触し、作業員2名が感電負傷した。
	原因(推定)	接近作業となる高圧電線部に防護措置および予防措置(停電による作業)をしないまま作業をさせた。
被害状況	最長停電時間	162分
	総停電お客さま数	1戸
	弊社への損害賠償金額	-



状況図



◆配電線との安全な距離



	電線路の電圧	最小離隔距離 ^{※1}	より安全な距離 ^{※2}
配電線	低圧 (100V) (200V)	1.0m	2.0m
	高圧 (6,600V)	1.2m	

※1 労働安全衛生規則に基づく最小離隔距離
※2 当社をはじめとし、全国の電力会社では停止時の”ジブ振れ”目測による誤差”を考慮し、より安全な離隔距離を設定している。

以上

このチラシは事務所または工事車両内等に掲示してご活用下さい。